

自主防災

(臨時号)

ひろしま

自助

共助

公助

編集・発行／広島市危機管理室
TEL (082) 504-2664

11月5日は「津波防災の日」です！

11月5日は、江戸時代（1854年）に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした、『稲むらの火』のモデルにもなった安政南海地震の発生した日に因んだものです。

これを機会に、津波について「広島県津波浸水想定図」などで危険箇所をあらかじめ確認し、避難場所や避難経路、さらに連絡方法等を日頃から家族で話し合っておきましょう。



「稲むらの火」ってどんな話??

安政南海地震が発生した際、村の高台に住む庄屋の五兵衛さんが、海の水が沖合へ引いていくのを見て「これはただごとではない!」と感じ、祭りの準備に心を奪われている村人たちに危険を知らせようと、自分の田にある刈り取ったばかりの稲の束（稲むら）に松明（たいまつ）で火をつけます。その火を庄屋さんの家が火事だと思い、消火のため急いで大勢の村人が高台に集まったため、津波の被害から逃れることができたという事例をもとにした話です。

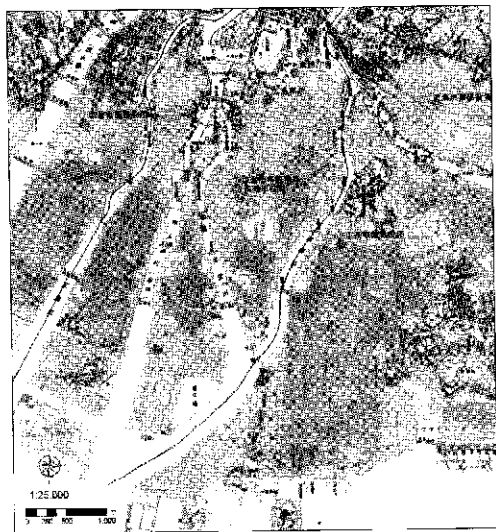


画像提供元：一般財団法人都市防災研究所

津波による浸水想定区域を知るには

広島市でも南海トラフ巨大地震等による津波の浸水が想定されています。特に地震により河川堤防が沈下し、河川からの浸水も想定されています。広島県津波浸水想定図や浸水時避難計画マップなどで確認しましょう。

【広島県津波浸水想定図】



【浸水時避難計画マップ】



詳しくは、広島県HPをご覧ください。

広島県津波浸水想定図

検索

詳しくは、広島市HPをご覧ください。
(作成中の地域があります)

浸水時避難計画マップ

検索

津波に関する情報について

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。

種 類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波 警 報	予想される津波の高さが 高いところで3mを超える 場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波 による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただち に高台や避難ビル*など安全な場所 へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津 波 警 報	予想される津波の高さが 高いところで1mを超 え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、 浸水被害が発生します。人は津波に よる流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただち に高台や避難ビルなど安全な場所へ 避難してください。
津 波 注意報	予想される津波の高さが 高いところで0.2m以上、 1m以下の場合であつ て、津波による災害のお それがある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込ま れ、また養殖いかだが流失し小型船 船が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上 がって、海岸から離れてください。

* 広島市では、「浸水時緊急退避施設」という名称を使用しています。

(気象庁HPから引用)

津波発生時の緊急一時的な退避場所について

広島市では、津波や洪水、高潮等の際に、市が開設する避難場所等への避難の途中で目前急迫の浸水危険にさらされた場合に、市民等が緊急一時的に退避するための施設として、一定の構造要件を満たした施設について、所有者の方などの承諾が得られた施設（高いビルなど）を「浸水時緊急退避施設」として指定しています。

【浸水時緊急退避指定施設一覧表・広島市ホームページから一部抜粋】

小学 校区	名 称		所 在 地	退避場所 (4階以上)	階数
白島	市営大須賀住宅	南区	大須賀町20番6号	廊下・階段等	15
白島	グリーン二葉の里	東区	二葉の里一丁目2番 34号	階段、廊下	10
基町	広島市立広島市民病院	中区	基町7番33号	講堂 (中央棟10階)	11
基町	市営基町第18アパート	中区	基町18番1号	廊下・階段等	20
基町	市営基町第19アパート	中区	基町19番1号	廊下・階段等	20
基町	市営基町第20アパート	中区	基町20番1号	廊下・階段等	18
幟町	広島合同庁舎1号館	中区	上八丁堀6番30号	廊下・エレベ ーターホール	6



詳しくは、広島市HPをご覧ください。

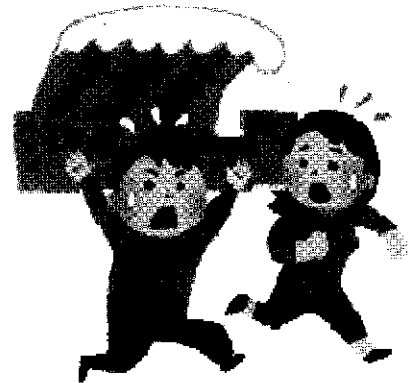
浸水時緊急退避施設

检索

この標識が目印です！

津波に備えて（津波から身を守る5つのポイント）

- 強い地震(震度4程度以上)を感じたときや弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、早く**高台**や**高いビル**などの安全な場所に避難しましょう。
- 地震を感じなくても、**津波警報**や**大津波警報**が発表されたときは、直ちに海岸から離れ、素早く安全な場所へ避難しましょう。
- 津波注意報でも、海水浴や磯釣りはすぐに中止し、陸上の安全な場所へ避難しましょう。
- 正しい情報を**テレビ**や**防災情報メール**などで入手しましょう。
- 津波は**繰り返し来襲**します。警報・注意報が解除されるまでは、絶対に海岸に近づかないようにしましょう。



危機管理室からのお知らせ ～防災まちづくり事業始めました～

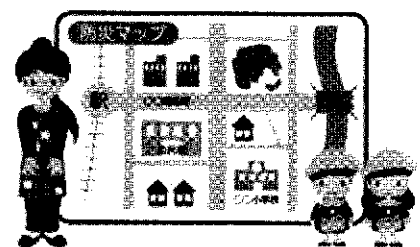
広島市では、地域防災力の向上を図るため、平成26年8月20日の豪雨災害以降に市民の方々から本市にいただきました寄付金*をもとに「防災まちづくり基金」を設置しました。

この基金を活用して、次のとおり、地域の防災まちづくり活動の促進等を図るための防災まちづくり事業を行います。

※被災者支援のためにいただいた「義援金」とは異なります。

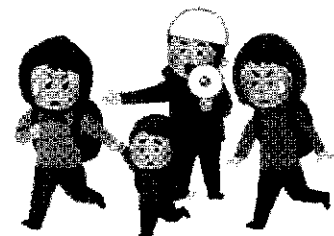
わがまち防災マップの作成支援

区役所や消防署、消防団のサポートの下、各地域の自主防災組織の皆さんが、土砂災害警戒区域等のハザード情報を基に、地域で確認した危険箇所や避難場所などの地域独自の情報を盛り込んだ防災マップを作成することを支援します。



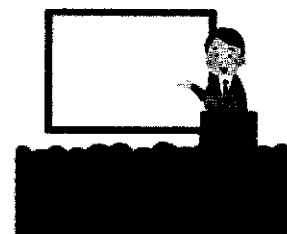
防災リーダーの養成

地域の皆さんの活動を続けていくには、核となる防災リーダーの養成が必要であることから、防災に関する知識と技術を有する防災士の資格を公費負担により地域の皆さんに取得していただき、資格取得後に地域の防災活動に積極的に関わっていただく予定です。



防災講演会などの開催

防災士、学識経験者等を講師やアドバイザーとして派遣し、地域防災活動を行っている人や防災に関心のある人などを対象に、講演会や研修会を開催します。





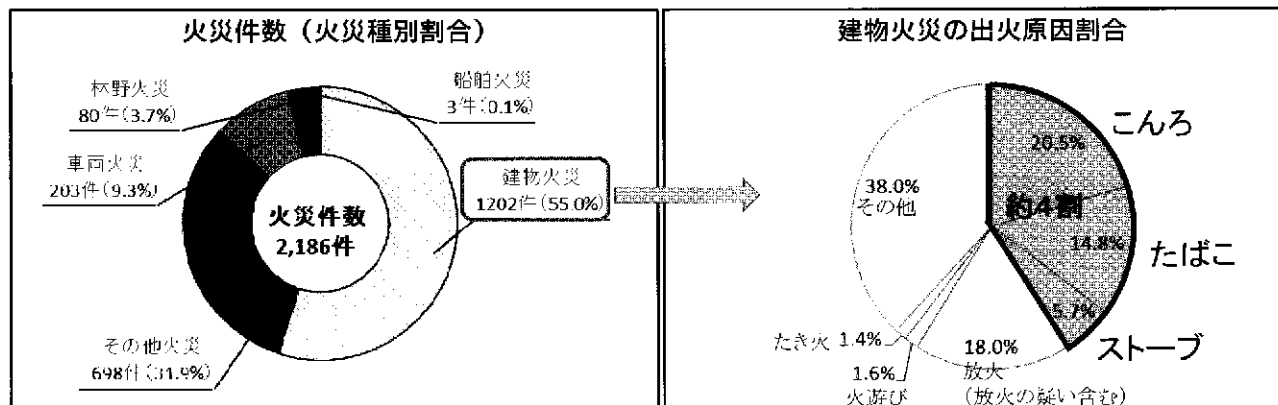
「秋の火災予防運動」 [11月9日～15日]



秋から冬にかけて、空気が乾燥し火災が発生しやすい時期になります。
火気の取扱いには十分注意してください！



広島市消防局管内の平成22年1月1日から平成26年12月31日までの5年間の、
建物火災の出火原因は、「こんろ」「たばこ」「ストーブ」が約4割を占めています！



こんろの火災を防ごう！



調理中にそばを離れて火災になった。
調理中についウトウトして火災になった。

**こんろから離れない！
離れるときは必ず火を消す！**

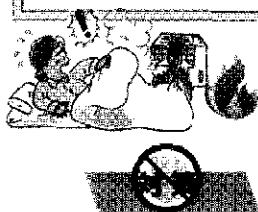
たばこの火災を防ごう！



寝たばこをして火災になった。
完全に火を消さなかったから火災になった。

**寝たばこは絶対にしない！
たばこの火は完全に消してから捨てる！**

ストーブの火災を防ごう！

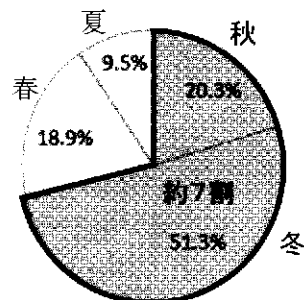


寝ている時に、布団が当たって火災になった。
給油のとき、灯油がこぼれて火災になった。

**周りに燃えやすい物を置かない！
給油のときは必ずストーブを消す！**

【四季別の火災による死者の発生状況】

火災による死者のうち、
約7割が秋から冬に発生しています。



死者のうち半数以上が65歳以上の高齢者です。

こんろやたばこ、ストーブなどの原因で、火災による死者が発生しています。



火災から身を守るための3つの対策



住宅用火災警報器～設置して維持管理すれば、火災を早く知ることができます！



消火器～備えておけば火災が小さいうちに消すことができます！

防災品～寝具、衣類及びカーテンなどに使用すると火災の拡大を抑制することができます！

